

## 大賞および入選

### 緑と心のルネッサンス

大谷 一男 木場

黒埼町の緑化を目指した記念植樹を提案したい。町は総合体育館、図書館、野球場、老人憩の家、その他の周辺ならびに街路に計画的に植樹地を町内住民に提供する。

一本一本の植樹は、父の木、母の木、わたしの木といった親子の触れ合い植樹や、入学、卒業、就職、成人、結婚など人生の節目、あるいは永遠の思い出としての植樹など種々考えられる。

そして将来、憩の森を形成し奥深い所に図書館があり、体育館があるという情景を夢みたい。また、街路樹の並木もぜひ欲しいものである。

誠意があれば、この緑化運動は成功するだろうし、善意にもとづく民間投資も実現可能となる。JC（青年会議所）の卒業記念としてぜひ植樹したいものである。

### 町全体にチャイムを流す

奥山 優子 鳥原

明るい町づくりをするために黒埼町全体に聞こえるようなチャイムを付けたらどうか。時間は午前八時と十二時、午後五時と八時。特に夕方五時は時間を忘れて遊んでいる子供たちに帰宅時間を知らせ、午後八時は小学校低学年以下の睡眠時間です。中学生以上の非行防止のために役立つのではないのでしょうか。

### 文化財めぐりの立て看板

山崎 フサ 新潟市

主人の転勤でこちらへきました。先日、所用があり新潟日報の新

も言われています。

わたしは、エジソンがいかに天才的であったにしても、エジソン一人の考えだけでは千三百以上の特許を得ることはできなかったのではないかと考えます。学校教育をほとんど受けなかったエジソンの発明は、発明工場と発明工場のスタッフの協力を得たからではないのでしょうか。

さて、アイデアの問題ですが、これぞ！と思えるようなアイデアは独りでいくら考えてもなかなか浮かんできません。それは個人の知識や体験、情報の量などに、それなりの限界があるからだと思います。

そこで、わたしは個人個人のそれなりの限界を互いに打ち破りこれぞ！というアイデアを生み出す一つの方法として、町が主催する「アイデア懇談会」（仮称）を開いたらよいのではないだろうか、と考えました。もちろん、この懇談会は、適当日時、場所で開催を希望する者はだれでも自由に参加し、気軽に発言できるものでなければなりません。

仮に、懇談会を開いたとしたらどのような結果が現れるでしょうか。大別すると二つのことが予想されます。その一つは、ひよつとしたら思いもかけぬアイデアが生まれるかもしれないということです。もう一つは懇談会が失敗するかもしれないということです。

問題は失敗の場合です。わたしはこの場合でも、甚だしく失望する必要はないと思っています。失敗は成功のもとだからです。

再び、エジソンの言葉ですが、エジソンは「発明は努力九八％、靈感二％」と言ったそうです。エジソンの大発明と、わたしたちのアイデアを同列に論じることはできませんが、それにしてもわたしたちが、これぞ！と思える新奇な思いつき、斬新なアイデアを得る

社屋へ出かけました。すばらしい建物で感心しましたが、一步社屋から国道へ出てみるとパチンコ屋とラーメン屋ばかりが目につきます。そこには文化の香りが一かけらもありませんでした。黒埼町ももう少し文化に目を向けたらどうか。

国道と高速インターの所に立て看板を立てては、「文化財道しるべ」とでもして。

緒立八幡宮、緒立遺跡、常民文化史料館、旧跡焼鮎、釈迦誕生仏木場棒踊り、黒鳥兵衛の伝説、鷲尾家の大シイ、自由民権運動家山際七司、明治十七年、二十九年の大洪水。

ーなど黒埼町にも文化財、旧跡が多いと思います。これを絵地図にして立て看板を作るのです。観光と歴史が組み合わされます。これにつけても考えさせられるのは寺泊町の文化財案内です。こ

こはボタンを押すと声が出ます。説明板には歴史がわかりやすく解説されています。また、福島県では芭蕉コースのどこどこに標識地図があり、周辺の名所旧跡などの連絡標識もあつて、ハイキングコースが作られています。

黒埼町にも絵地図や立て看板などでゆくゆくはハイキングコースや自転車道ができるのではないのでしょうか。青少年の体力づくりに役立ち、郷土愛や文化財、自然を尊ぶ心も生まれてくると思います。さいわい、新潟市が近いのです。歴史と文化を求めて若者も家族連れの行楽客も増えることと思います。

### 町主催のアイデア懇談会

枝並 金蔵 山田

その生涯に千三百以上の特許を得て、発明王と呼ばれたエジソンの最大の発明は、発明工場を発明したことであると言われています。また、エジソンは孤独な発明家ではなく、組織者、経営者だったと

ためには大きな努力の積み重ねが必要であると思います。

盲目へびにおぼし。わたしはエジソンの発明工場という言葉にそこはかとなくひかれながら、以上のことを愚考しました。そして次のように提案します。

町主催の「アイデア懇談会」（仮称）を開かれたらいかがでしょうか。

### 佳作

（順序広報で紹介していく予定です）

○黒埼町と他市町村の境界に町の特徴を生かした看板、模型を立てる（樋渡洋子・中津通）

○大野町商店街共通の商品券（宗村あや子・奥野二区）

○団地住宅の屋上に泥棒が入ったら点滅する防犯警告灯の設置

（佐藤マキ・鳥原前川原）

○新潟市民を含んだ黒埼屋外バザール（露天市場）の開催。黒埼町は新潟市に近いのだから、バザールでは町から農作物、新潟市の業者から安い消費財を販売し、町はその場所を提供する。（樋口隆太郎・新潟市）

○黒埼町の全商店で「黒埼シール」の発行。換金率は一％ほどにすれば商店もそう負担にならないのでは。（高橋美枝子・大野）

○なかなか一住民が町長と話す機会がないので各地区に一つ目安箱みたいなものを設ける。ほか二点（小林範子・木場）

○町を紹介する絵はがきを作る（平石久美子・山田）

○黒埼町のギネスブックを作り、毎年二月一日に認定し、広報でPRする。（例）仲人をした数、魚拓ほか（宗村 久・鳥原）

○町をあげて廃品回収をし、収益金を公共のために使う。今年、木場で二回したところ二十六万円ほど集まった。（永井ムツ・木場）

○二十一世紀の黒埼町（田沢剛夫・白根市）※原稿用紙二十枚ほどの論文